

「ライフをセールする男のはなし」

天野豪紀

登場人物

軽部(かるべ)♂ 23歳

金田(かねだ)♂ 42歳

命苦(めいとま)♀ 23歳

ライフセールスマン♂ ?歳

時間は夕刻。場所は東京の客足の少ないバーでの話である。

カウンター席に左から軽部、金田、席一つ空いて命苦と座っている。

金田の横には大きいバックが置いてある

金田、命苦に話しかける

金田 お嬢ちゃん

命苦、気づかないで、黙々とお酒を飲んでいる

金田 おーい、そこのお嬢ちゃん

命苦、気づく

命苦 はい？なんででしょうか？

金田 私たちと一緒に飲まないかい？

ほら、見ての通り男二人だからさ、結構さみしいのよ

命苦 いや、結構です。お誘いありがとうございます

軽部 えー。君、つれないね。せっかく金田さんが誘ってあげてるのに

金田 いいって、軽部くん。お嬢ちゃんも今夜は一人で飲みたい気分なのよ。ね？

命苦 まあ…そうですね。私、今夜は今日の記憶が全部消えるまで飲みたい…そんな気分なんです。

金田 そっか。お嬢ちゃんもいろいろあったんだね。

命苦 はい…

金田 でも、お嬢ちゃん、今お金ないでしょ？

命苦 え？

金田 さっき偶然見えちゃったんだ。お嬢ちゃんの財布にお札が一枚もないことに  
命苦 …。

金田 だからさ、私たちと一緒に飲もうよ。私が奢るよ？  
命苦 え、でも…

金田 大丈夫、そんなやましい気持ちなんてなにもないから。ただアイツが来るまでの暇つぶしの時間だからさ。♡人より♡人のほうが楽しいでしょ？

命苦 …。わかりました。

軽部 金田さん、お金はいくらでも持つてるからさ。安心してよ

金田 軽部君、べらべらしゃべりすぎ。

軽部 へい、すいません。

金田 ははは。まあ、いいよ。よし楽しもう。

命苦、金田の横に移動をする

軽部 君、名前は？

命苦 命苦です。「命」と「くさかんむりに占う」て書いて「めいとま」って読みます。

金田 ほう、珍しい苗字だね？出身は？

命苦 鹿児島です

金田 鹿児島から上京してきたんだね。就職？

命苦 はい。でもやめました、今日。

金田 え、やめたの。だから今日あんなに落ち込んでたんだね。でも、落ち込む必要なんてないよ。転職は第二の人生の始まりだって思えばいいからさ。

命苦 はい…。でも私…。いえ、なんもありません。少しお手洗い行ってきます

命苦、お手洗いに去る

軽部 仕事辞めるのそんなに嫌だったんですかね？

金田 さあ、どうかね。もしかすると別な悩みかもしれない

軽部 別な悩み？

金田 うん。例えば私と同じ悩みとか

軽部 うーん、どうなんですかね。あ、それよりも金田さん！今日は買ってくれるってきめてくれてありがとうございます。

金田 いや、いいさいいさ。私も欲しかったところだからさ。

軽部 えーと、そのー。少し聞きにくいんですが今日は何か月分買ってくれますか？

金田 何か月じゃないな。

軽部 え？

金田 10年だ。

軽部 10年…

金田 ダメか？

軽部 ちょ、ちょっと待ってください

軽部、携帯を取り出し電卓機能で計算をする

軽部 一、十、百、千、万、10万、100万、1000万、1億…

金田 どうだ？

軽部 取引成功、ですね

金田 よし、来た

命苦、お手洗いから帰ってくる

命苦 あの…

金田 ん？どうした？

命苦 さっきの話に出てきたアイツって誰ですか？

もし私、お邪魔になるなら帰るんですが

金田 あー。命苦ちゃん、いても大丈夫だよ。ただの仲介役だからさ。

命苦 仲介役？

金田 うん

命苦 なんか取引をするんですか？

金田 そう

命苦 なんの取引ですか？

金田 お、命苦ちゃんさっきからぐいぐい来るね

命苦 すいません。少し気になったもので。

金田 もしかして命苦ちゃんも知っているのかい？

命苦 え？

金田 闇取引。

金田、時計を見ながら

金田 あ、そろそろ来る時間だな。

ライフセールスマン登場。鋭い眼光で、髪はワックスでしっかりと固めていて、全身黒  
スーツに身をまとっている

ライフ お待たせしました

金田 おう、きっちり10分遅刻だな。ペナルティとして10分間土下座  
ライ はい。

ライフセールスマン土下座を始める

軽部 お前、いつも金田さんを待たせすぎなんだよ  
ライ …。

軽部 なんか言えよ

金田 まあまあ、いつものことだから私はもう慣れた。ただ、10分待てばいいだけの話じゃないか

軽部 でも金田さんにとっての10分ってでかいじゃないですか。

金田 まあ、そうだな。

軽部 だって、金田さん

金田 ああ、私明日死ぬもんな

命苦 え、そ、それってどういうことですか？

金田 あー、そっか。命苦ちゃん知らないよね。実は私、持病抱えててね。それで明日死ぬの。心筋梗塞で。そういう運命なんだ。

命苦 運命…？

金田 うん。だけど私はその運命に抗うために闇取引をしてるの

命苦 もしかして

金田 そう、そのもしかして。

命苦 買うんですか。寿命を

金田 ご名答

ライフセールスマン、体を起こす。軽部の横に座る

ライ 今日は、何か月分取引しますか？

金田 いや。何か月じゃない、10年で頼む

命苦 10年…？

ライ 10年ですか。これはまた大胆な買い物ですね。

軽部 なあおい、その前にさ俺の寿命ってまだまだあるよな。すこし見てくれよ  
金田 ついでに私のもよろしく。

ライ …了解しました。

ライフセールスマン、3人の方を見る

ライ 軽部は、残り90年とのカ月と13日生きて、金田さんはやっばあと1日ですね。君は：

命苦 いや、私は大丈夫です

ライ そうか

軽部 よっしゃ、俺余裕！

金田 はあ、やっぱりか

ライ では、10年でよろしいですか

金田 ああ、頼んだ

ライ はい

ライフセールスマン、電卓を取り出して計算を始める

ライ 1年を1000万円計算して、金田さん1億円になります。

金田 わかった

金田、キャリアバックの中を漁る

命苦 待ってください

金田 ん？どうした、命苦ちゃん？

命苦 寿命を買うなんてずるくないですか

金田 なんで？自分のためにお金を使って何が悪いの？

命苦 なんてって…。私は…、私は…！

金田 余命宣告されたんでしょ？

命苦 え。なんでそれを。

金田 なんてって、はは、こんなに私たちに突っかかってくるなんてそうとしか考えられないよ。私と同じだね。

命苦 …はい。

金田 余命宣告ってさ辛いよね。私も宣告されたとき終わりだって思ったよ。人生お先真っ暗だって。そんなときに彼に出会ったんだ。

金田、ライフセールスマンの方を向いて

金田 最初会ったとき、君、私になんて言ったんだっけ？

ライ あなた、そろそろ死にますね

金田 って言うてきたんだよ。こいつなんだよって思ったよ

軽部 それって確か俺と金田さんが飲みに来てた時でしたよね。懐かしいや

金田 ああ。そうだったなあ。君と出会えてほんとはよかったライ  
ありがとうございます

金田、命苦を見る

金田 君は何カ月？

命苦 え？

金田 余命宣告だよ

命苦 私は、一年持てば良いほうだって言われました

金田 一年か。長い長い。私なんてたったの〇カ月だよ〇〇カ月でできることなんて限られてるよ

命苦 長いってなんですか

金田 え？そのままの意味だけ？

命苦 たったの一年ですよ〇〇歳にして一年しか生きられないって。全然長くないですよ

金田 命苦ちゃん、生きたいの？

命苦 生きたいですよ！そりゃあ、私だって余命を宣告される前は毎日死にたいなあとか思っていましたよ！けど、死ぬんだけってわかってから思ったんです。死にたくないって私、生きていたかったんだなって。

金田 そっか。じゃ、寿命を買うためのお金奢ってあげようか？

命苦 えっ？いい、いいんですか

バックを漁って、そしてバックの口を閉める

金田 冗談だ。あいにく私が持っている金は一億円と今日の飯代だけだ。

いやー、ごめんな、命苦ちゃん。君に奢れるのはここの飯代、それだけだ。

軽部 金田さん、上手い。

金田 まあな。あ、それと命苦ちゃん、いいか？自分の「未来」を買うためには「金」がいるんだ。いいな？

命苦 金田さん、あなたは最初の印象通りのままの人でした

金田 命苦ちゃんはそれは私を馬鹿にしているんだね。さあ、どんどん言いなさい

命苦 …ハゲ。

金田 それは言っちゃだめだよ

命苦 このハゲおやじ！

命苦、走って店を出る

金田 ああ、待って命苦ちゃん！ちゃんと店の代金払っとくからねー！

軽部 金田さん、何でそこまであの子によくするんですか。

金田 うーん。まあ、約束だからね。

軽部 流石です

金田、バックをライフセールスマンに渡す

金田 「億円だ。よろしく頼む

ライ では、手数料として10%…

金田 説明はもういい。もらってけ

ライ 了解しました。じゃあ、始めさせていただきます

ライフセールスマン、二人の腕を掴む

ライ ぷーーーーーん

ライフセールスマン、腕を離す

軽部 その掛け声どうにかならないの？

ライ いや、無理だ。これが一番力が発揮される

軽部 そうか

金田 ありがとう。これで私はあと10年は生きられる

ライ いえいえ。また呼んでください。次は10年後にでも

金田 わかった

軽部 金田さん、俺もありがとうございます！これでまた遊んで暮らせますよ！

金田 ああ、いいさいいさ。じゃあ早速この金で遊んで来い

軽部 はい！

軽部、店を出る

金田 あいつには毎回世話になってるな。

ライ 私はあいつがあまり好きじゃない

金田 そうなのか？

ライ はい。早く死んでほしいと思ってます。冗談です。

金田 冗談でもそういうこと言っちゃだめだぞ。あいつは私の大事な貯蓄だからさ

ライ はは。あなたもなかなか性格が悪いですね

金田 そうか？

携帯の着信が鳴る

金田 執事が迎えに来たようだ

ライ そうですか。

金田 じゃあ、私は行くね。あ、命苦ちゃんバック忘れてるから少しだけ待っててあげて

ライ 了解しました

金田、会計すまして店を出る

ライ あの人は性格良いのか悪いのか

命苦、急いで戻ってくる

命苦 はあ、はあ、はあ。

ライ お帰り

命苦 あれ、あの二人は？

ライ 帰ったぞ

命苦 そうですか。バック忘れてました。

ライ ほらよ

ライフセールスマン、バックを渡す

命苦 ありがとうございます

ライ じゃあ、君が来たから俺は帰る

命苦 あ、さようなら

ライフセールスマン、扉を出る前に命苦の方を向く

ライ 一ついいことを教えてあげるよ。君の病気は治る。

命苦 でも私余命を宣告されているのに…

ライ さあ、どうやって治るのかなんて俺にはわかんない。が、君の寿命がそれを物語っている

命苦 え、どういうことですか。

ライ そうだな。実は俺が人の寿命を見たとき、俺は軽部にお前の寿命を言った

命苦 そ、そうなんですか。てことは…



ライ ああお前の寿命は…

命苦 〇年と〇カ月と13日…。

ライ ご名答

命苦 そんな、あり得ない

ライ 俺のことが信じられないのか？まあしょうがないが

命苦 いえ。信じます！でも…一つ聞きたいことがあるんですがいいですか？

ライ ああ、かまわない

命苦 あの時、軽部さんの寿命ってどのくらいだったんですか

ライ ちょうど、10年だった。ってことでまたな。いやお前とはもう会わないかもな。なんてな。

ライフセールスマン、店を出る

命苦 ってことは…軽部さん…。

命苦、ゆっくり店を立ち去る

テレビの音声が聞こえてくる

アナ 速報です。今日未明、東京都〇〇区で無職軽部拓さんが△△さんの運転する乗用車に轢かれ、その後病院に運ばれましたが間もなく死亡しました

終